

株式会社 総合投資経済研究所

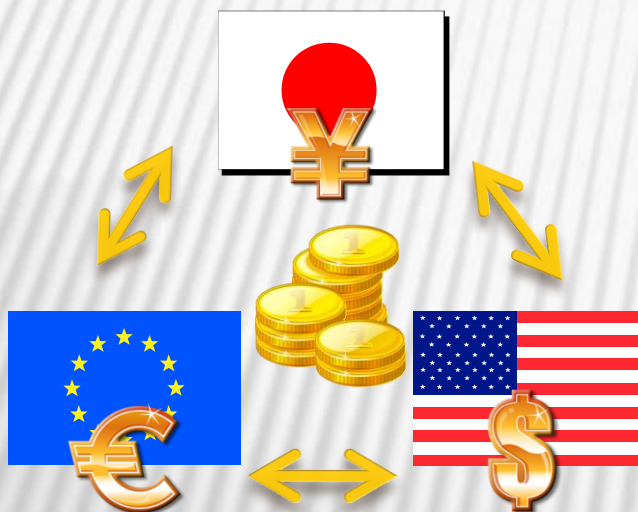
F X とは？

F Xとは何か？

「F X（ Foreign Exchange）」とは、1998年の外為法改正による金融自由化を機に誕生した「外国為替証拠金取引」という金融商品の略称です。

外国為替取引とは？

外国為替（外国為替取引）とは、日本円と米ドル、ユーロなど異なった2つの通貨を転換する取引を指します。



証拠金取引とは？

証拠金取引とは、証拠金を担保にその何倍もの金額を運用する取引を指します。

小さな金額を預けて大きな金額を動かす原理を『レバレッジ効果』=てこの原理といいます。



つまりF Xとは. . .

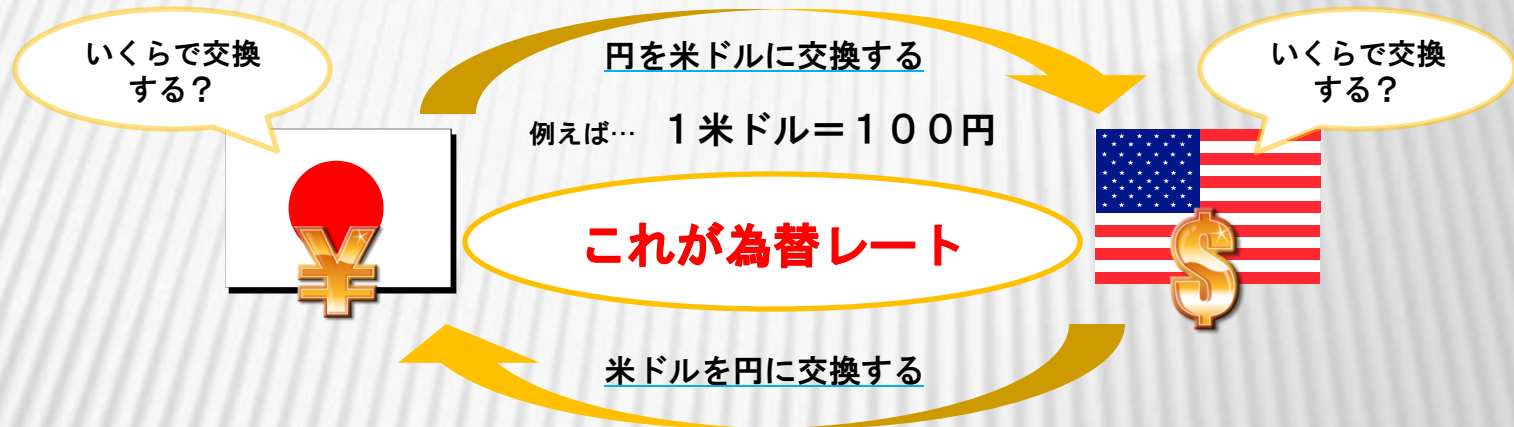
少額の証拠金をかけて、大きく外貨を運用する取引です。

FXとは何か？

～外国為替・為替レート～

外国為替と為替レート？ ～円・米ドルのケース～

外国為替とは2つの異なった通貨同士を交換するという意味です。
そして、異なった通貨同士をいくらで交換するかという変換比率を為替レートといいます。



為替レートが変わると...

FXでは、この仕組みを利用して利益を得ようとします。

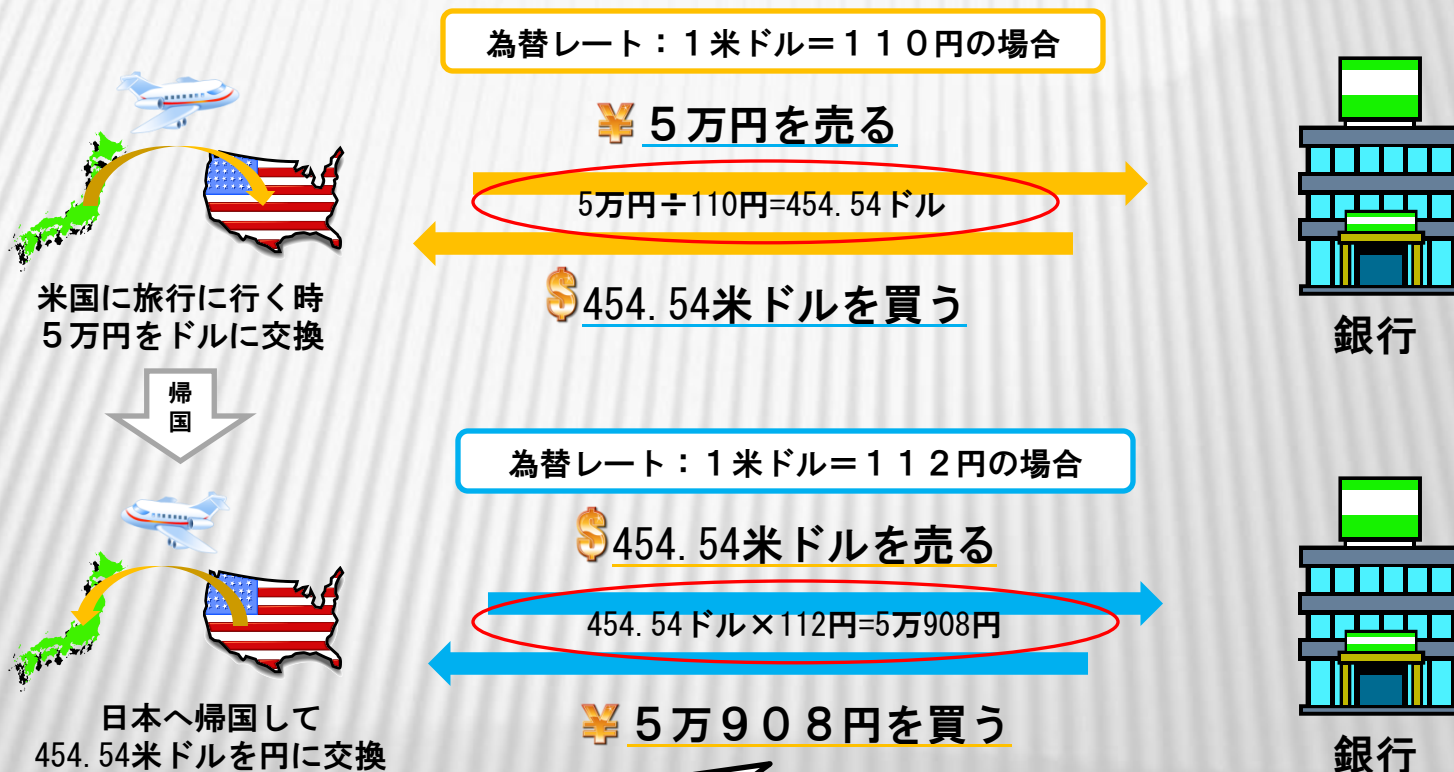


F X とは何か？

～原点は「両替」～

意外に身近な為替取引

海外旅行などの際に日本円を外貨に換えたり、外貨を日本円に戻したり、という両替は基本的には F X と同じことをしています。



1米ドル＝110円の時より **908円多い**
為替の差額が儲けになる仕組みが F X の原点です！

F X とは何か？

～ F X 取引での利益とは～

為替差益を狙う

F X 取引の最大の収益チャンスは、価格変動による為替差益を狙う取引です。
通貨の売買であるからには、「安く買う」と「高く売る」がポイントです。

買い ケース

「これからドルは値上がりする」と見込んで、1ドル＝100円の時に10,000ドル買うとします。
その後、見込みどおり値上がりし、1ドル＝105円になったので、売る（決済する）としましょう。



$$(105円 - 100円) \times 10,000 \text{ドル} = 5 \text{万円}$$

5円値上がりしたことで、差し引き5万円分の
為替差益を得ることができました。

F X は、将来の値下がりを狙って売りからでも取引を始めることができます。

売り ケース

「ドルはこれから値下がりする」と考えられるときはどうでしょう。
105円の時に売って、見込みどおり値下がりし、1ドル＝100円のに買い戻すと...



$$(105円 - 100円) \times 10,000 \text{ドル} = 5 \text{万円}$$

買いから始めて売り決済を行ったときと同様、
5円の値下がりですら10,000ドルあたり5万円の為
替差益を得ることができます。

F X とは何か？

～ F X 取引での利益とは～

スワップポイント

F Xには、価格変動による為替差益の他にもうひとつ大きな収益チャンスがあります。それが「スワップポイント」による収益です。

「スワップポイント」とは、異なる2通貨の売買によって発生する、通貨間の金利差調整分のことをいいます。

低金利通貨を売って、高金利通貨を買った場合、2通貨間における金利差（スワップポイント）を得ることができます。

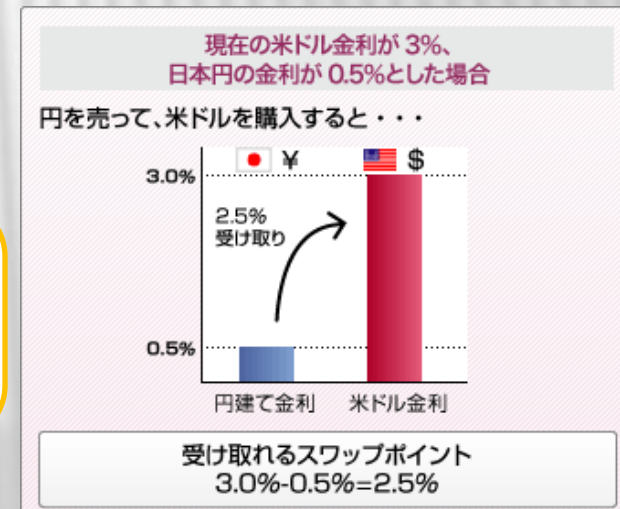
例えば！

金利0.5%の日本円を売り、3.0%の米ドルを買うと、
その金利差 2.5%を受取ることができます
(1万通貨あたり74円/日)
※スワップポイントは日々変動します。

1日ではわずかな額ではありますが、1ヶ月間
持ち越すと、

$74\text{円} \times 30\text{日} = 2,220\text{円}$ の、
スワップポイントが受取れます。

※但し、高金利通貨を売って、低金利通貨を買った
場合はスワップポイントの支払いが生じます。



F Xとは何か？

～少ない資金で大きな取引～

レバレッジとは？

F X取引の最大の魅力である1つ、それがレバレッジです。

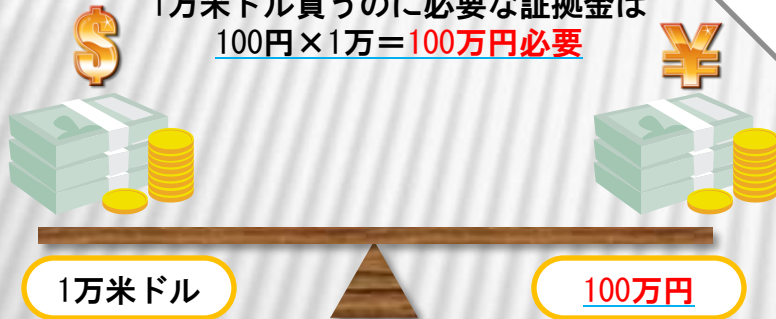
レバレッジとは「てこの原理」という意味で、少ない証拠金で大きな金額を取引することができることを指しています。

例えば、通常1米ドル＝100円の時に1万米ドルを買うには100万円の資金が必要となりますが、F X取引では定められた証拠金を預け入れることによって取引が可能です。

為替レート：1米ドル＝100円の場合

レバレッジ
なし

1万米ドル買うのに必要な証拠金は
 $100円 \times 1万 = 100万円必要$

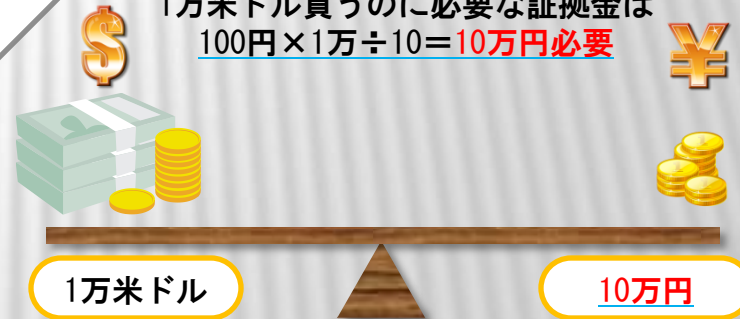


105円のときに売ると $105円 \times 1万 = 105万円$ で、
この差5万円が利益となります。

少ない資金
でも
利益は一緒

レバレッジ
10倍

1万米ドル買うのに必要な証拠金は
 $100円 \times 1万 \div 10 = 10万円必要$



105円のときに売ると利益は5万円と同じです。

「レバレッジ効果」により、手持ちの金額の何倍もの取引が可能です。

F Xの特徴 ～外貨預金との比較～

F Xは、外貨で運用するという点で、外貨預金とよく似ていますが、商品性は大きく違います。

	F X	外貨預金
取引手数料 (米ドル/円)	0 銭～10 銭程度 (証券会社によって異なります)	15 銭～1 円程度 (通貨や銀行により異なります)
取引の自由度	2 4 時間	銀行の営業時間
取扱い通貨	米ドル・ユーロ・豪ドル・NZドル・カナダドル・英ポンド・スイスフラン・南アフリカランド・香港ドルなど	円 — 外貨 (いくつかある)
取引期限	特になし	外貨定期預金は満期あり
為替変動への対応度	外国通貨の値段が上昇しても、下落しても対応できる	外国通貨が上昇することでは、利益を得られない

取引手数料の安さ

特に、取引手数料の安さはF Xの魅力の一つです。

外貨預金では、一番メジャーな米ドル／日本円でも片道1円程度の手数料を取られます。

しかしF Xであれば、手数料とスプレッド（外貨の買値と売値の差額）を合わせたコストでも、何と0～10銭程度。その日に決済すれば、取引手数料は片道無料になるケースも多いのです。

このように外貨預金と比較して、F Xの手数料は低く設定されています。

取引の手数料は収益性に直接影響するので、F Xの格安な手数料は、収益機会の増大につながりやすいアドバンテージであるといえます。

F Xの特徴

～眠らない市場～

24時間取引が可能

9時に始まって15時に終わってしまう取引時間が短い株式市場と違って、土日、元旦などを除いて24時間いつでも自由な時間帯で、自分のライフスタイルに合わせて取引することができるのもF X特徴の一つです。

「1日の市場サイクル」

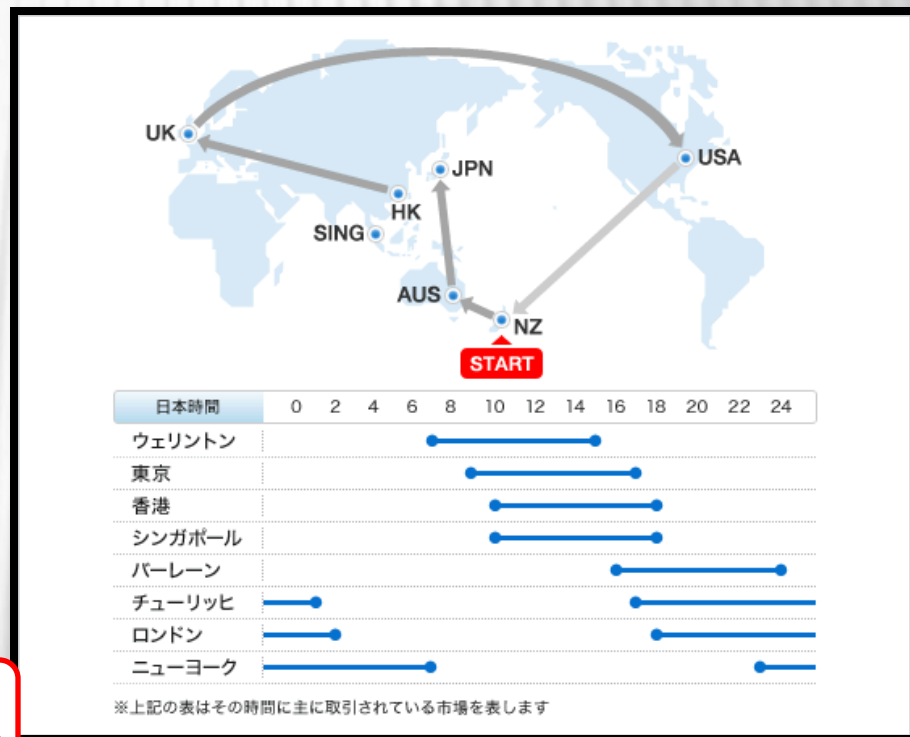
AM 5:00 ウェリントン（ニュージーランド）市場で一日が始まります。
続いてシドニー（オーストラリア）市場がオープンします。

AM 9:00 東京（日本）市場が引き継ぎ、マーケットの中心がアジア市場にやってきます。
特にドル円の取引が盛んに行われます。

PM 16:00 ロンドン（英国）市場が開きます。
この時間帯ではユーロが中心に取引されます。

PM 21:00 英国が昼休みに入る頃ニューヨーク（米国）市場が開き、
為替取引が盛んに行われる時間帯に入ります。

日本時間 21～2時にあたる、ロンドン市場とニューヨーク市場の重なっている時間帯が、1日の中で最も活発に取引が行われる時間帯です。



このように“24時間眠らない市場”で取引できるから、F Xはチャンス逃さないのです。

F Xの特徴

～多彩な通貨ペアでの取引～

F Xで取引できる通貨の数は非常に多く、メジャーな通貨の取引はもちろん、マイナー通貨などの世界中の通貨を取り扱うことが可能です。

そのため為替差益・スワップ金利等、自分の取引目的に合った通貨の選択肢が非常に広く用意されています。

主要通貨

米ドル、ユーロ、日本円、英ポンド等
いろいろな決済通貨として使用されることがあり、他通貨に比べ取引量の多い通貨であります。



高金利通貨

英ポンド、豪ドル、NZドル等
近年は、低金利通貨を売り、高金利通貨を買う「キャリートレード」が注目されております。



低金利通貨

日本円、スイスフラン等
市場のテーマが「金利」となった時は比較的売られやすい通貨となります。



資源国通貨

豪ドル、NZドル、カナダドル等
原油価格をはじめとした、資源価格と連動する傾向があります。



マイナー通貨

南アフリカランド等
主要通貨と比べて取引量が少ないことから不安定な相場変動となることもあります、新興国ならではの高金利通貨の一つでもあります。



通貨ペア選びはF X取引の勝敗の鍵を握っていると言っても過言ではありません。

売買の判断基準とは？

～ファンダメンタルズ分析とテクニカル分析～

ファンダメンタルズ分析

「経済の基礎的条件」

経済指標や政治状態などの経済的な情報をもとに相場の値動きを分析する方法のことです。各国の経済成長率や金利水準率、国際収支や失業率などといった経済活動の状況を示す経済の基礎的要因のことです。

地政学的
リスク

通貨政策

金利

景気

貿易黒字

様々な指標を使つてのチャート分析などのことをいい、相場の過去の動きを振り返り、その特徴を分析し、現状の相場動向と過去の動向を照らし合わせることによって、現状の相場がどの程度の値動きをするのかを経験則によりある程度理解する事ができます。

ボリンジャーバンド

MACD

ローソク足

RSI

ストキャス
ティクス



「傾向と対策」

ファンダメンタルズで為替相場の方向性をおおまかに予測し、テクニカルズで「どこまで相場は下がるのか？」「どこまで相場は上がるのか？」という具体的なことを予測し売買します。

ファンダメンタルズ分析

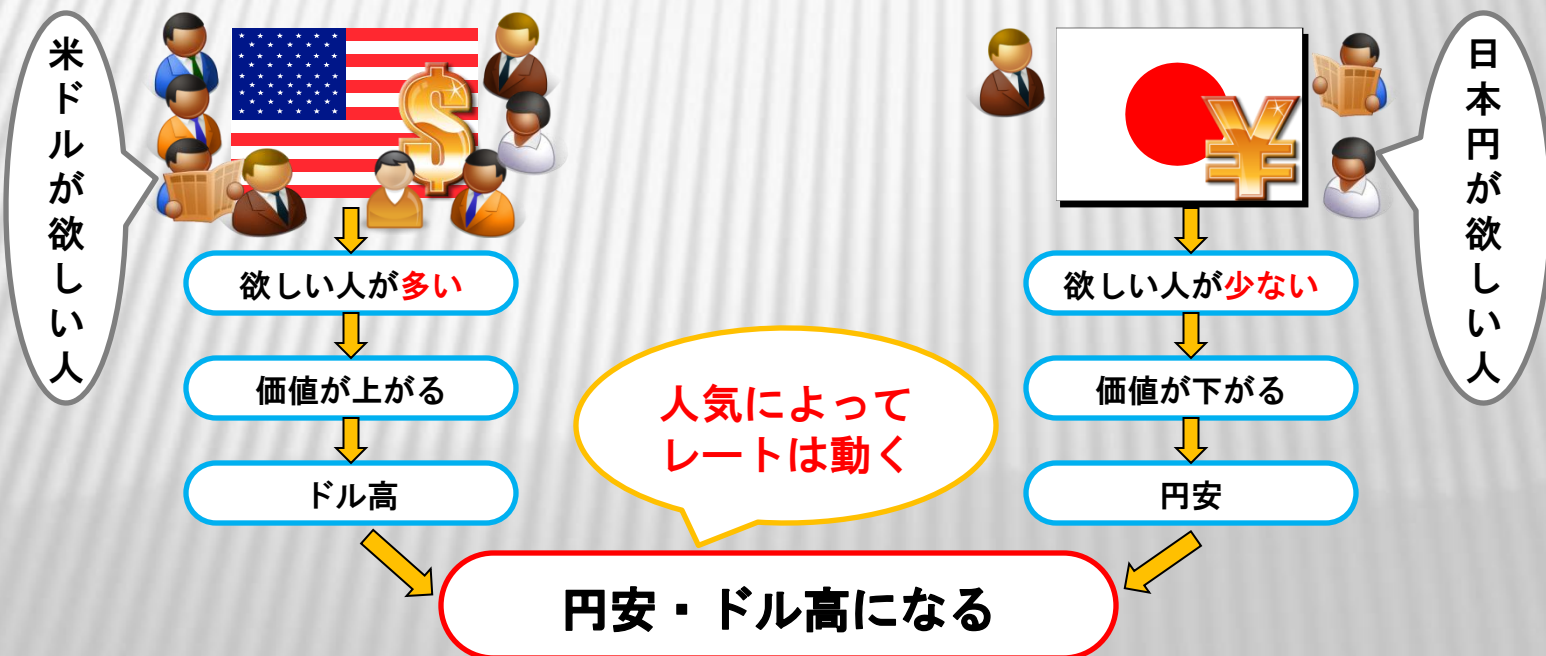
～為替レートはなぜ変わるのか～

外国為替市場ではさまざまな参加者がそれぞれの思惑や必要に応じて外貨を売買しており、その需要と供給のバランスによって為替レートは変動します。

FXで得をするための基本は「強い国の通貨を保有し、弱い国の通貨を持たない」ということです。「強い国」とは将来にわたって経済が成長していく（あるいは高いレベルで安定している）、政治が安定している国のことをいいます。

市場参加者は、金利やその国の経済の成長性、財政の健全性、戦争・テロなどの地政学的要因などを根拠に「強い国」を探してその国の通貨を保有します。これとは逆に、「弱い国」になりそうな国の通貨は売られてしまうのです。

～円安・ドル高になるケース～



ファンダメンタルズ分析

～為替レートはなぜ変わるのか～

為替に影響を与える指標

景気

景気がよいとモノがよく売れ、企業に利益が出るので、株価が上がると予想されます。そのため、海外からも投資資金が集まり、その国の通貨は高くなります。逆に景気が悪くなると、投資資金がその国から逃げ出し、通貨が安くなります。

通貨政策

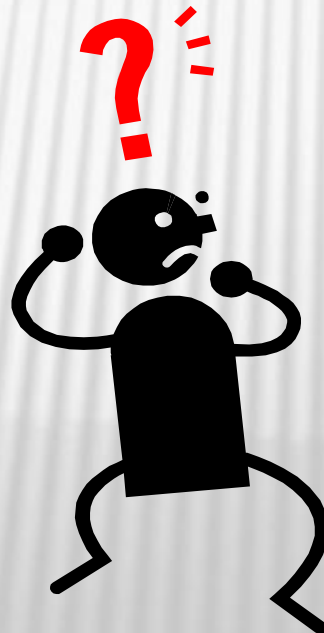
通貨政策は、各国の要人の発言によって明らかになります。特に米国の通貨政策には、多くの投資家が注目していますので、アメリカ要人の発言には要注意です。日本で言えば、日銀総裁が円高や円安を容認する発言をしたりします。

金利

金利が上がると、その金利目当てに海外から投資資金が集まるため、その国の通貨は高くなります。逆に金利が低くなれば、投資資金が逃げ出し、通貨も安くなります。

貿易黒字

貿易黒字とは、輸入した金額よりも輸出した金額のほうが多いことを意味します。商品を輸出して得た代金は、自国の通貨に交換しなければならないので、輸出が多い国ほど、通貨が高くなる可能性があります。



地政学的リスク

政治的・軍事的な問題で地域紛争やテロのリスクが高まり、特定の地域の経済が先行き不透明になることです。

テクニカル分析

～チャートから相場の先行きを読む～

主なテクニカル分析の分類

テクニカル分析の種類は多岐にわたり、それぞれの特徴があります。ただFXにおけるテクニカル分析には、値動きのトレンド、強さを分析するための「トレンド系」と、買われ過ぎ、売られ過ぎを判断するための「オシレーター系」に大きくわかれます。

テクニカル分析で大切なことは、まずは自分に合うチャートを見つけること。そしてそれを継続して、自分独自の売買法則を作ることです。

価格の方向性がわかる 「トレンド系」

トレンドとは、相場の動く方向のことをいいます。為替相場はほとんどの場合、細かい上下運動を繰り返しながら、一定方向に向かっていく特長がありますので、この流れをとらえ、それに乗っていくための分析をすることをトレンド分析といいます。

移動平均線

一目均衡表

ボリンジャーバンド

ペンタゴンチャート

パラボリック

ポイント&フィギア



買われ過ぎ・売られ過ぎがわかる 「オシレーター系」

相場の方向性を探るための「トレンド系」に対し、現在の価格が買われ過ぎなのか、それとも売られ過ぎなのかを判断するための分析手法として「オシレーター系」と呼ばれるチャートもあります。

RSI

DMI

ストキャスティクス

MACD

CCI

ADX

テクニカル分析はFXトレードをする上でとても役に立つツールです。自分にとって使いやすいものを組み合わせることが、FXでの勝率アップにつながります。

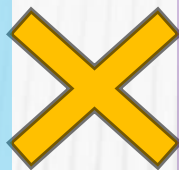
テクニカル分析

～システムトレード・EA～

システムトレード

システムトレードとは、
“あらかじめ決めておいた
ルールに従って継続的・機械
的にトレードする投資法”で
す。多くの一流のトレーダー
達が、システムトレードを
使っています。

感情によって生じる
余分なリスクを回避
できる



EA

EAとは、
エキスパートアドバイザーの
略称で自動売買を行う為の
プログラムソフトになります。

相場観を持たず
に売買ができる



個人投資家の中で、1年間で利益を上げている人はわずか10%だといわれています。その理由は、投資判断をする重要な局面で入り込む「希望的観測」や「臆病さ」といった人間的な感情です。その意味では、「意志との戦い」を制することが、トレードに勝つための条件といえるのです。つまり、システムトレードを用いることによって、「意志との戦い」を制することができるのです。人間なら誰でも持っている心理的弱点を克服し、トレードで着実な利益を出し続ける突破口。それがシステムトレードです。

大きな資金を動かす機関投資家や外国人は、今やシステムトレードが主流になっています。

F Xのリスクとは？

F Xは大きなリターンが狙える商品ですが、その分リスクも大きくなります。
どんなリスクがあるのかを理解してからチャレンジしましょう。

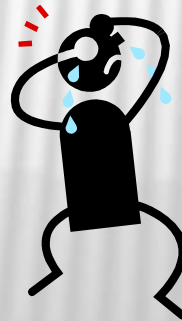
価格変動リスク

為替相場は常に変動しているので、場合によっては預けた証拠金以上の損失が発生する可能性があります。



金利変動リスク

金利が変動すると、為替相場に影響を与えます。また、スワップポイントの額も変化するので注意が必要です。



流動性リスク

売買したいと思ったときにできないことを流動性リスクといいます。外国為替は取引が多いため、取引ができないことはほとんどありませんが、暴落などによって取引が殺到し、一時的に取引不能になる可能性もあります。

FXのリスクとは？

高いレバレッジには要注意

FXは、レバレッジを効かせて倍率を高くすれば、より大きな利益を見込めますが、相場を見誤ったときは、その分損失が大きくなります。だからこそ、レバレッジの倍率は、目先の利益だけ追わずに、じっくりと自分で、どのくらいのリスクを負って、どの程度のリターンが得たいのかを考えなければいけません。

例えば、1米ドル=100円のとき

証拠金
10万円



米ドル
1万ドル購入

100円×1万米ドルで
100万円分の外貨を保有

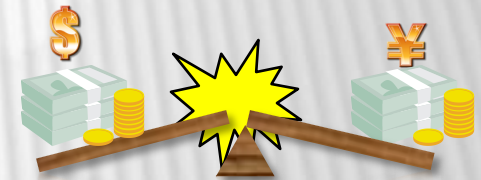
その後1米ドル=95円になると…

米ドル
1万ドル



95円×1万ドルで
95万円分の価値に

レバレッジ
10倍の場合

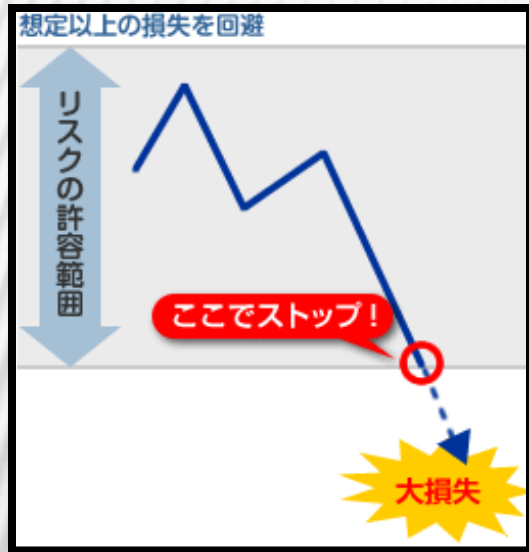


10万円の
証拠金が
半分に!!



ロスカットによるリスク管理

F Xには株式のような値幅制限がありません。このため資産を守る観点から、預け入れている証拠金額以上の損失を防ぐために、多くの取引会社がロスカットルールを設けています。ロスカットルールに抵触した時に、ポジションの全てをシステムが自動的に反対売買を行い、損失を確定するというものです。



例えば、10万円の預け入れの時に、相場が大きく予想と反対方向に進んでしまい、10万円以上の損失が出て、預り金額がマイナスになってしまうということをこのロスカットルールが防いでくれるわけです。

F X取引で利益を上げる為にはリスク管理がとても重要です。自分の投資目的や取引ペースをしっかりと守りながら、リスク管理を怠らないことが大切になります。